

EXCEL 設計書取り込みツール 2018

2018 年 04 月版

操作説明書（岐阜県編）

（第2版）



目 次

1	はじめに	3
2	操作説明	3
2.1	EXCEL 設計書取り込みツールの操作手順.....	4
3	補足（動作環境）	10

1 はじめに

本書は、発注者から提供された工事設計書(電子)データ、またはそれらを元に準備された EXCEL 形式データを『テクノス V2Ex』に対応したデータに変換するツール、『EXCEL 設計書取り込みツール』の操作説明書です。

本ツールは Microsoft 社の EXCEL を利用しており EXCEL 2010 以降のバージョンが必要です。できる限り、最新バージョンのご利用を推奨します。また、ライセンス管理には『テクノス V2』と同一の USB プロテクタを利用していますので、『テクノス V2Ex』が起動する環境(PC)が必須です。

本ツールの使用に際し、次の説明書を参考にし、インストールしてください。

インストール	EXCEL 設計書取り込みツールインストール説明書(第2版)
--------	--------------------------------

ここでは、EXCEL 形式のファイル(参考資料など)を使用して『テクノス V2Ex』に対応したデータを生成するための操作方法について説明します。

2 操作説明

この操作手順は
EXCEL 設計書取り込みツール 2018 岐阜県版
に対応しています。

【準備】

- ・『テクノス V2Ex』が正常に動作するようにプロテクタを準備してください。
- ・発注者から提供される工事設計書(電子)データ EXCEL ファイルを準備してください。

2.1 EXCEL 設計書取り込みツールの操作手順

(1) ツールの起動

デスクトップのショートカットアイコンから本ツールを起動します。

デスクトップ等に作成されるアイコンの名称は「設計書取込2018」の文字で始まります。



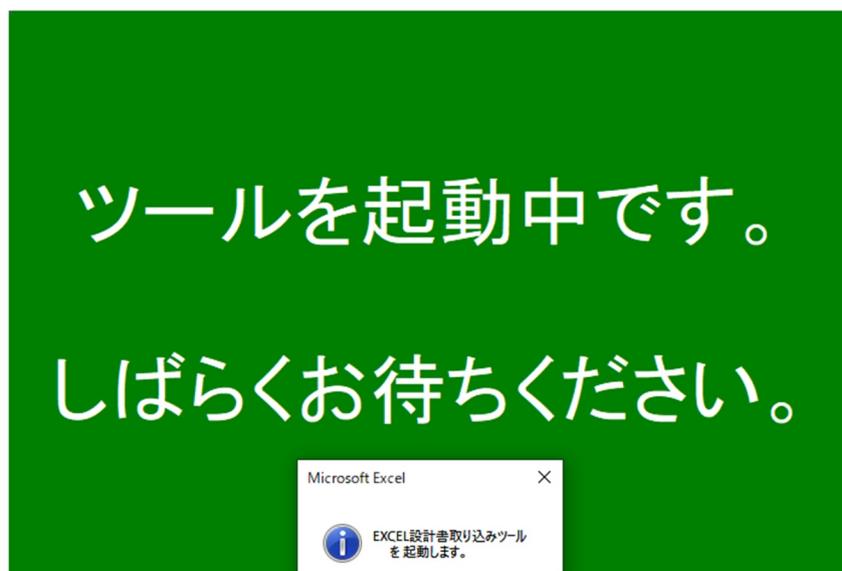
(2) [コンテンツの有効化]、「マクロの有効化」の確認

[コンテンツの有効化]、「マクロの有効化」の確認があれば、有効化します。

(有効化の方法が不明な場合、別紙「EXCEL マクロ有効化手順書」等を参考にしてください。)

(3) ツールの起動

マクロが有効化されツールが起動されると「EXCEL 設計書取り込みツールを起動します。」と表示されます。 [OK] ボタンをクリックします。



(4) 略称、条件等の設定

起動したツールの MENU シート(画面)にて

次の項目を設定します。

【工事情報】

工事情報	略称 (必須項目)
	請負者名
	発注者名

略称は『テクノス V2』の工事管理画面の工事名に表示される情報です。

少ない文字数でわかり易い名前を付けてください。

また、実際の工事名、工事個所、工事概要などはこれから取り込む工事設計書に記載されている情報から可能な限り自動的に取り込まれます。

【条件設定】

モード設定	通常 (選択)
	上出来専用 上出来 BEST で取り込める形式
取り込むデータの レベル選択	<p>変換したい(『テクノス V2Ex』へ取り込みたい)データの階層、種類を指定します。 (任意)</p> <p>選択肢は 内訳表のみ、単価表までの2種類です。</p> <p>「内訳表のみ」および「単価表まで」は文字通り各レベルまでのデータが取り込めます。</p>

【単価表の強制参照化】

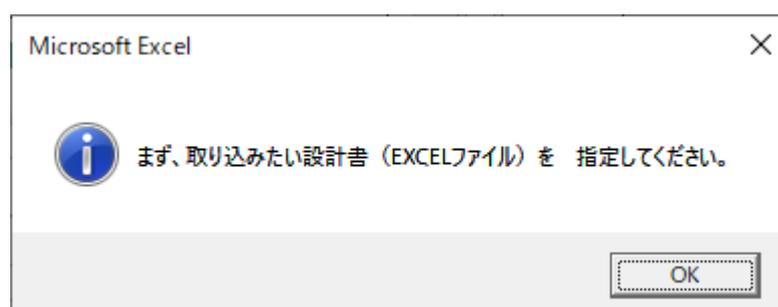
同一帳票番号の単価表を参照化しない。の選択	<p>初期状態(同一帳票番号の単価表を参照化する。)</p> <p>岐阜県の場合、同一の帳票番号が付加されていてもお互いの内容が異なる事例があったため、同一の帳票番号でも独立して変換できる選択肢が追加されています。</p>
<input type="checkbox"/> 帳票番号が同一の単価表の参照化 (名称規格は考慮しない)	<p>初期状態(<input type="checkbox"/>:非選択)では、帳票番号と名称、規格が同一であれば同一の単価表として判断します。</p> <p>本設定が有効になると、名称および規格の同一性は無視して、帳票番号のみで判断します。</p> <p>参照化された単価表は『テクノス V2Ex』上では同一とみなされるため、一方の内容を変更するとその変更結果が参照化されている他の単価表にも自動的に反映されます。</p>

(5) 取込の実行

略称等を入力・設定の上、[取り込み実行(ファイル指定など)]ボタンをクリックして実行します。

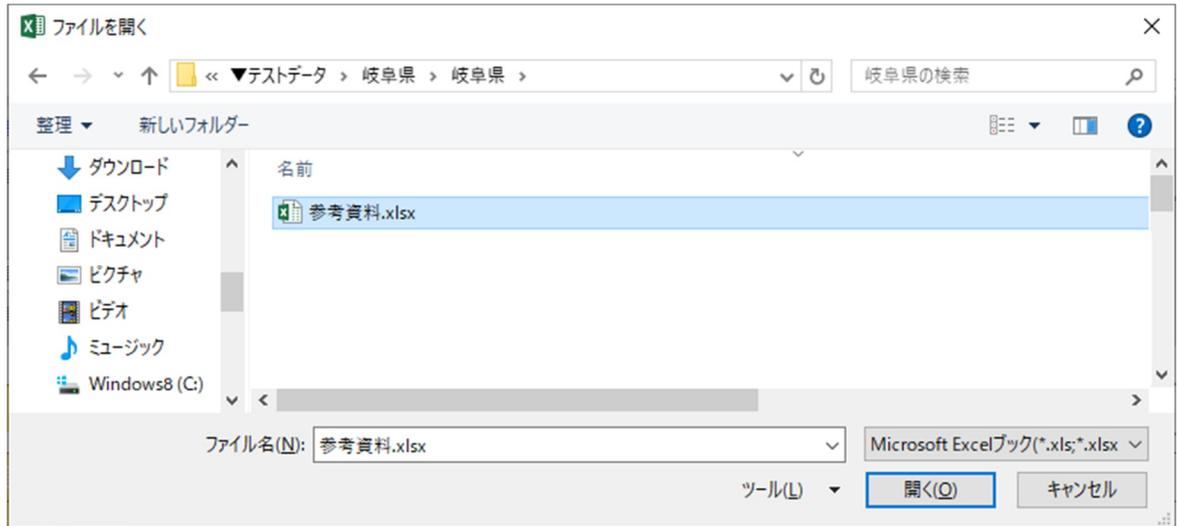
(6) EXCEL ファイルの選択1

取り込みが実行されると右の確認画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



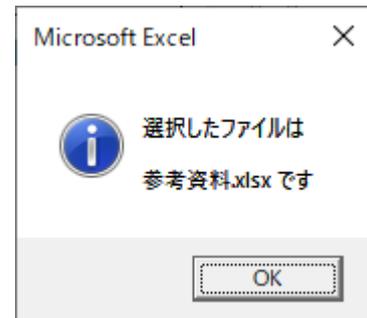
(7) EXCEL ファイルの選択2

ファイルを開く の画面にて対象のファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。



(8) EXCEL ファイルの選択3

表示された確認画面にて、[OK] ボタンをクリックします。



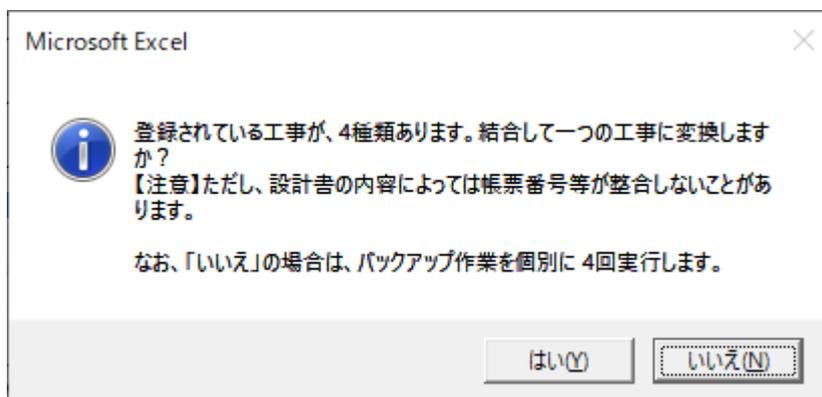
(9) 取り込み実行処理(対象データのコピー)

取り込んだ EXCEL ファイルから必要な情報がコピーされます。

処理中は画面上のウィンドウが頻繁に切り替わることがあります。(しばらくお待ち下さい。)

(10) 複数の工事が登録されていた場合の選択画面

なお、**複数の工事が登録されている場合のみ**、次の選択画面が表示されます。



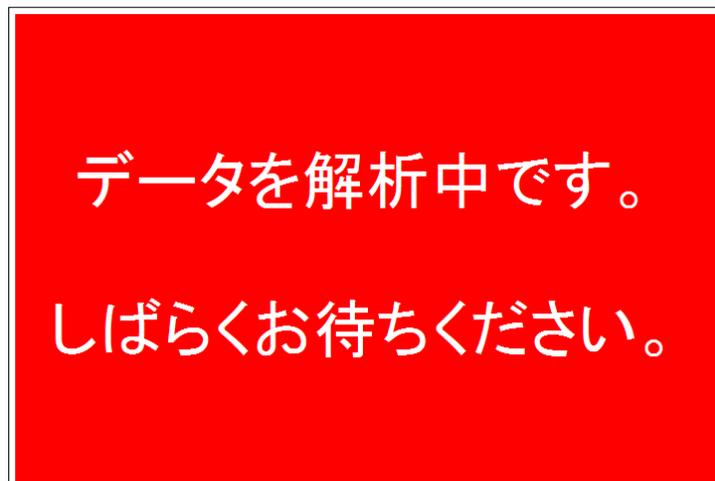
[はい] : 複数の工事をまとめて **ひとつ** の TBK ファイルに出力する。

[いいえ] : 各工事を **個別** の TBK ファイルに出力する。

この確認画面が表示された場合、[はい] または [いいえ]のいずれかを選択します。

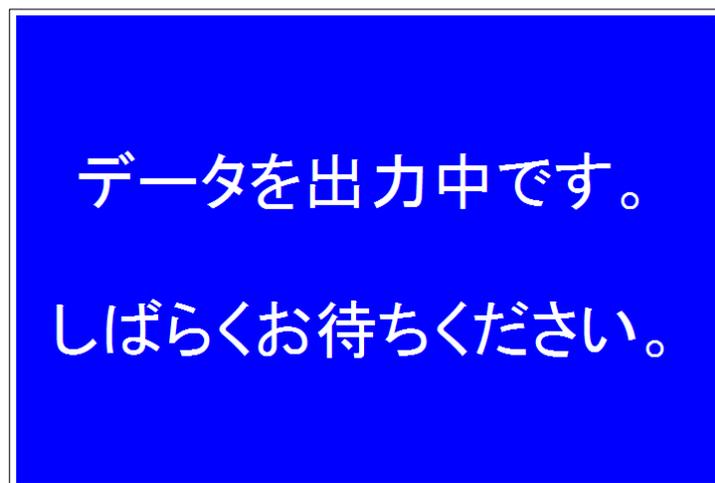
(11) 取り込み実行処理(分析中)

コピー処理が終了すると、EXCEL 形式の工事設計書に記述されている階層情報等、積算を構成する要素、種類等が分析されます。



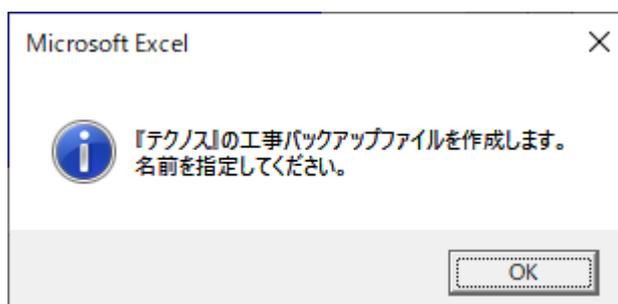
(12) 取り込み実行処理(出力中)

分析が終了すると、ファイルへ出力する情報が生成されます。



(13) 取り込み実行処理(出力の確認)

ファイル出力の準備が完了すると次の画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。

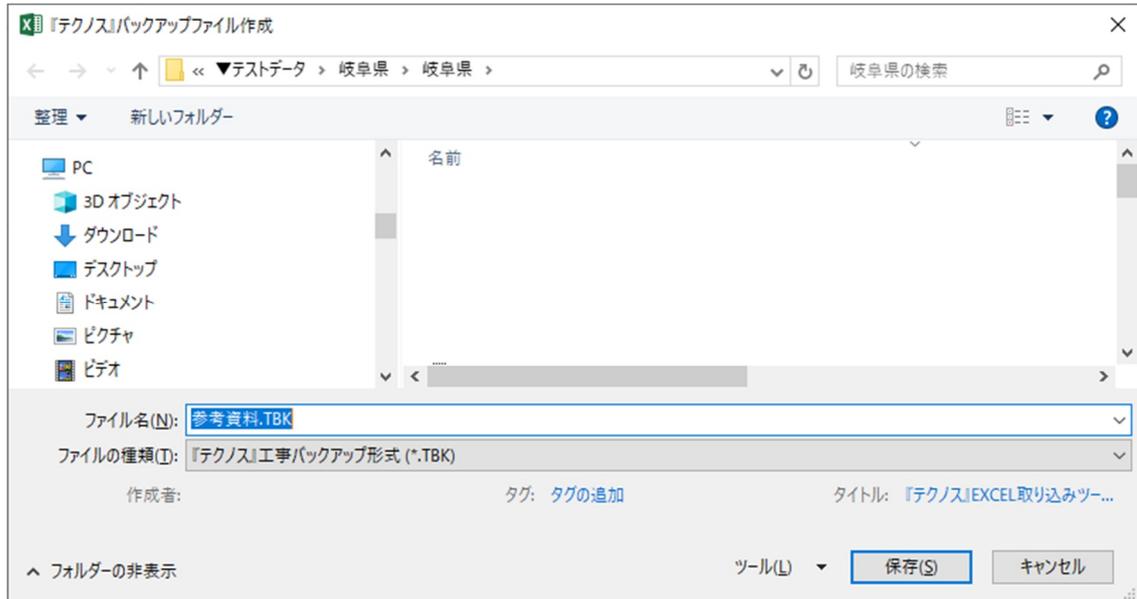


(14) ファイル出力(ファイルの指定)

「『テクノス』バックアップファイル作成」画面にて保存するフォルダおよびファイル名を指定してから [保存] ボタンをクリックします。

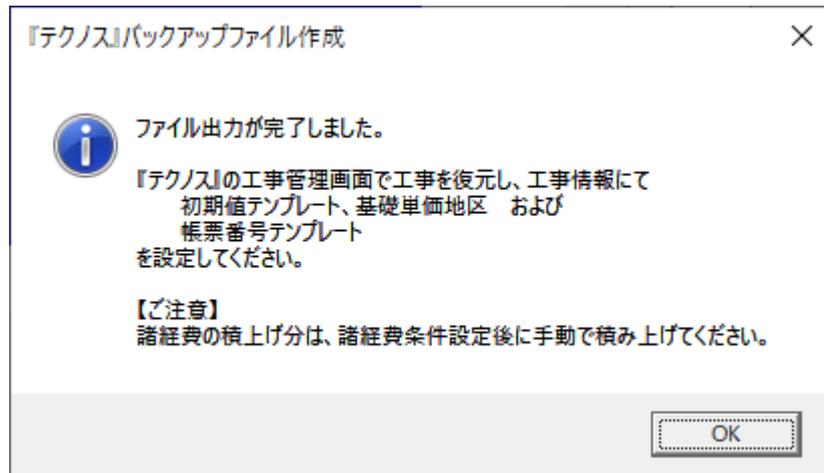
(先に指定した **略称** がファイル名の初期値として自動的に設定されています。

ただし、ファイル名は自由に変更できます。)



(15) ファイル出力完了

ファイル出力が完了すると次の確認画面が表示されます。内容を確認した後、[OK] ボタンをクリックします。



(16) ツールの終了

ウィンドウ右上の [X] をクリックします。

以上で『テクノス V2Ex』へ取り込むための TBK ファイルが準備できました。『テクノス V2Ex』では[設計書から]機能によりここで作成した TBK ファイルを読み込みます。

3 補足（動作環境）

動作環境についてはホームページのダウンロードサイトを参照してください。

以下、余白

EXCEL 設計書取り込みツール 2018
2018年04月版

操作説明書（岐阜県編）

著作者 - 株式会社テクノ
発行者 - 株式会社テクノ

発行日 - 2018年04月01日 第1版
2019年03月20日 第2版
2019年12月05日 第2版改